

市民ひろば

発行人 市民ひろば編集委員会
〒411-0858
三島市中央町3-32 小出ビル3F
代表 小野 啓一
電話：055-994-9211
shimin.hiroba@ybb.ne.jp
振替 00870-5-153264
市民ひろば

ひろばは新聞定期購読者募集
申し込みは上記連絡先へ



書き留めて⑩ あさの かずこ
「己をもち灯しつづけたいままでを
静かに歩いていこうと決めた」
幾たびか空爆をくりかえした
掌に包まれるアレルポの石鹸

ガイドラインなしの プロポーザル入札は問題だ

選定委員は担当部課長が中心だった

業務委託するときの入札方法の一つに「プロポーザル入札」がある。役所用語では「提案競技入札」という。

これは発注者（市）が「委託事業の内容、費用、期間などを示し、良い企画や選定委員会の審査が画を提案してください」と必要となり業者側も提案書を作成しなければならぬ。選定するやり方だ。

このような入札が最近増えてきたのは、「落札した業者がよい仕事をしなかった」という例が増えるため、情実落札（市員減らしといわれる一民）が起きている。

このような欠点を少なからずあるようだが、この方式は確かに金額面だけでなくソフト面からの評価も出るので、最も適した相手を選べるという利点を持っているが、価格競争ではないので割高になる可能性がある。さらに発注者側では評価基準の策

出遅れと、連合が反発した。このような世論の押しの米山氏を嫌い森民夫候補を推薦、民進党本部も米山氏が県連の意向に反したとして推薦せず米山氏に離党、自主投票となった。米山氏を推すのは共産、社民、生活の党のみ

原発再稼働「反対」6割 接戦の新潟知事選
となり、これでは太刀打ちできないとの憶測が広がっていた。

7月30日の鹿角島県知事選や参院選新潟選挙区のこともあり、逆転劇の悪夢に自民党幹部は頭を抱えているとのことだ。しかも、米山氏の選対本部長には、参院新潟選挙区

では三島市でのプロポーザル入札の表情はどうなっているのだろうか。情報公開された内容を見ると、平成26年から28年度の途中までで総計32件（11課）行われている。年平均13件。この数字の多寡については判断出来かねるが、提案者数は平均2社で、1社だけの参加は半数の16件もあることに違和感

を覚える。さらに評価は価格面よりもソフト（事業内容）の評価が高い。つまり価格面では上位の事業者が、ソフトが低く評価されて逆転した例もある。これでは入札の意味をなしていないのではないか。

公開資料から見た問題点を幾つか挙げてみよう。
・選定委員の構成に問題がある。選定委員は関係部課長のみで構成がほとんど。外部の有識者が加わった構成は3件のみでしかも少数だ。
・選定基準が曖昧。
・選定の議事録がない。
・選定結果の評価が公開されていない。
・提案書の公表がない。
これでは第三者の検証が



作って間もない観光トイレも市が取壊し跡地が売却される

学校トイレも国ぐるみで洋式化を唱えている。全ての人がともに暮らせる社会のトイレルは洋式でないといけないのか。日本ではつい先ごろまで、布団を毎日畳んで押し入れにしまい、高齢になっても和式のトイレで用を足した。この毎日の動きが足腰の強化につながっていたという。この和式のトイレも布団も今や消えかけている。

災害が起るとやばい和式トイレの問題が提起される。和式トイレを使えない人が多かったため、災害用トイレを洋式に替えるべきだと言った。だが、大災害になつたら仮設トイレもないかもしれない。何もないところでも用を足さなければならぬ。災害時避難所となる学校のトイレを全部洋式化するのには疑問だ。特に学校のグラウンドなどの外トイレは自然循環型パイオトイレを設置するのが良い。このトイレでできた肥料を使い、学校単位で地域の米や野菜作りを守る支援システムで地域内自給自足社会を作っていく。災害にも強く、雇用

を含めた入札業務のガイドラインを早急に作り条例として提案すべきである。それまでプロポーザル方式はやめるべきだ。今までのプロポーザル方式での発注価格は高くても数千円だ。だが、今回説明された三島駅南口西街区開発事業では土地価格だけでも4億円。商業地域に変更されることは約束されているようなものだから、その莫大な利益は目に見えている。

このような事業をガイドラインもなく、ほぼ非公開のプロポーザル方式で発注業者を決めようとしているのは、市民の利益を損なう行為といわざるを得ない。

も生まれ、今ある様々な問題が解決するだろう。日本の循環型社会が崩れたのは、土地を豊かにさせていた糞尿を下水に流してからだ。子どもたちこそ、人間も自然の一部であることを体験させ、自然と切り離された文明の不自然さを理解させてほしいものだ。確かに今学校のトイレを使いたくない子供たちが増え便秘の問題になっている。だが、子供たちに便秘が増えたのは学校のトイレが和式だからではなく、食生活の変化など原因は他にもあるのではないのか。外国には公共施設にさえトイレが少ない国がある。その国の人には外出時はほぼトイレに行かないという。外出時間が長くても、我慢するのが普通なことらしい。日本のバス旅行では、頻りにトイレ休憩が組み込まれ、旅行をしているのかトイレ巡りをしているのかかわらなくなる。確かに集団で移動するときトイレの確認は重要であるが少し度が過ぎるような気がする。

学校は家とは違う「社会」だ。いつでもトイレに行ける生活は人間を退化させ、身体のために楽にするというのは、実は身体を駄目にするのかもしれない。皆さんはどう考えますか。

裸の王様

10月16日投票の新潟県知事選が面白いことになっている。東京電力の柏崎刈羽原発の再稼働に対して慎重な姿勢を見せていた泉田知事が、8月末に突然出馬を取りやめた。公示直前まで、候補者は自民、公明推薦の森民夫・前長岡市長だけで、森知事に決まりとのムードが広がっていた。ところが医師で民進党衆議院候補であった米山隆一氏が急ぎよ泉田路線を引き継ぎ、原発再稼働は認めないという立場で立候補となった。当初は大幅な

出遅れと、連合が反発した。このような世論の押しの米山氏を嫌い森民夫候補を推薦、民進党本部も米山氏が県連の意向に反したとして推薦せず米山氏に離党、自主投票となった。米山氏を推すのは共産、社民、生活の党のみ

原発再稼働「反対」6割 接戦の新潟知事選
となり、これでは太刀打ちできないとの憶測が広がっていた。

7月30日の鹿角島県知事選や参院選新潟選挙区のこともあり、逆転劇の悪夢に自民党幹部は頭を抱えているとのことだ。しかも、米山氏の選対本部長には、参院新潟選挙区

では三島市でのプロポーザル入札の表情はどうなっているのだろうか。情報公開された内容を見ると、平成26年から28年度の途中までで総計32件（11課）行われている。年平均13件。この数字の多寡については判断出来かねるが、提案者数は平均2社で、1社だけの参加は半数の16件もあることに違和感

を覚える。さらに評価は価格面よりもソフト（事業内容）の評価が高い。つまり価格面では上位の事業者が、ソフトが低く評価されて逆転した例もある。これでは入札の意味をなしていないのではないか。

公開資料から見た問題点を幾つか挙げてみよう。
・選定委員の構成に問題がある。選定委員は関係部課長のみで構成がほとんど。外部の有識者が加わった構成は3件のみでしかも少数だ。
・選定基準が曖昧。
・選定の議事録がない。
・選定結果の評価が公開されていない。
・提案書の公表がない。
これでは第三者の検証が

学校トイレも国ぐるみで洋式化を唱えている。全ての人がともに暮らせる社会のトイレルは洋式でないといけないのか。日本ではつい先ごろまで、布団を毎日畳んで押し入れにしまい、高齢になっても和式のトイレで用を足した。この毎日の動きが足腰の強化につながっていたという。この和式のトイレも布団も今や消えかけている。

近頃「和式トイレ」は嫌われている？

災害が起るとやばい和式トイレの問題が提起される。和式トイレを使えない人が多かったため、災害用トイレを洋式に替えるべきだと言った。だが、大災害になつたら仮設トイレもないかもしれない。何もないところでも用を足さなければならぬ。災害時避難所となる学校のトイレを全部洋式化するのには疑問だ。特に学校のグラウンドなどの外トイレは自然循環型パイオトイレを設置するのが良い。このトイレでできた肥料を使い、学校単位で地域の米や野菜作りを守る支援システムで地域内自給自足社会を作っていく。災害にも強く、雇用

を含めた入札業務のガイドラインを早急に作り条例として提案すべきである。それまでプロポーザル方式はやめるべきだ。今までのプロポーザル方式での発注価格は高くても数千円だ。だが、今回説明された三島駅南口西街区開発事業では土地価格だけでも4億円。商業地域に変更されることは約束されているようなものだから、その莫大な利益は目に見えている。

このような事業をガイドラインもなく、ほぼ非公開のプロポーザル方式で発注業者を決めようとしているのは、市民の利益を損なう行為といわざるを得ない。

も生まれ、今ある様々な問題が解決するだろう。日本の循環型社会が崩れたのは、土地を豊かにさせていた糞尿を下水に流してからだ。子どもたちこそ、人間も自然の一部であることを体験させ、自然と切り離された文明の不自然さを理解させてほしいものだ。確かに今学校のトイレを使いたくない子供たちが増え便秘の問題になっている。だが、子供たちに便秘が増えたのは学校のトイレが和式だからではなく、食生活の変化など原因は他にもあるのではないのか。外国には公共施設にさえトイレが少ない国がある。その国の人には外出時はほぼトイレに行かないという。外出時間が長くても、我慢するのが普通なことらしい。日本のバス旅行では、頻りにトイレ休憩が組み込まれ、旅行をしているのかトイレ巡りをしているのかかわらなくなる。確かに集団で移動するときトイレの確認は重要であるが少し度が過ぎるような気がする。

学校は家とは違う「社会」だ。いつでもトイレに行ける生活は人間を退化させ、身体のために楽にするというのは、実は身体を駄目にするのかもしれない。皆さんはどう考えますか。

学校トイレも国ぐるみで洋式化を唱えている。全ての人がともに暮らせる社会のトイレルは洋式でないといけないのか。日本ではつい先ごろまで、布団を毎日畳んで押し入れにしまい、高齢になっても和式のトイレで用を足した。この毎日の動きが足腰の強化につながっていたという。この和式のトイレも布団も今や消えかけている。



学校トイレも国ぐるみで洋式化を唱えている。全ての人がともに暮らせる社会のトイレルは洋式でないといけないのか。日本ではつい先ごろまで、布団を毎日畳んで押し入れにしまい、高齢になっても和式のトイレで用を足した。この毎日の動きが足腰の強化につながっていたという。この和式のトイレも布団も今や消えかけている。

学校は家とは違う「社会」だ。いつでもトイレに行ける生活は人間を退化させ、身体のために楽にするというのは、実は身体を駄目にするのかもしれない。皆さんはどう考えますか。

学校トイレも国ぐるみで洋式化を唱えている。全ての人がともに暮らせる社会のトイレルは洋式でないといけないのか。日本ではつい先ごろまで、布団を毎日畳んで押し入れにしまい、高齢になっても和式のトイレで用を足した。この毎日の動きが足腰の強化につながっていたという。この和式のトイレも布団も今や消えかけている。

学校は家とは違う「社会」だ。いつでもトイレに行ける生活は人間を退化させ、身体のために楽にするというのは、実は身体を駄目にするのかもしれない。皆さんはどう考えますか。

学校トイレも国ぐるみで洋式化を唱えている。全ての人がともに暮らせる社会のトイレルは洋式でないといけないのか。日本ではつい先ごろまで、布団を毎日畳んで押し入れにしまい、高齢になっても和式のトイレで用を足した。この毎日の動きが足腰の強化につながっていたという。この和式のトイレも布団も今や消えかけている。

第34回 核兵器をなくし平和をつくる
三島市民のつどい
2016年11月26日(土)
三島市民文化会館小ホール
開場 13:00 開演 13:30
プログラム
13:30 第一部「戦争のつくりかた」上映
13:40 第二部 平和へのメッセージ
14:30 第三部 コンサート
「浦島浩司 平和を歌い愛を語る」
浦島浩司と仲間たち
(伊東FMパーソナリティ)
主催：核兵器をなくし平和をつくる三島市民の会
連絡先 987-1859(瀬古)

福祉の 慈眼堂
赤ひげのはりときゆう
○福祉料金○
フリーよりワンコインまで
・福島より避難生活の方
・失業中、無職、保険証のない方
・要支援、要介護と介護の方
・介護保険料37,200円以下の方
・難病、母(父)子家庭の方
・年収200万円以下の方
・75歳以上の方 ・生活保護の方
【治療時間】9:00~18:00【休日】木・日
【住所】三島市谷田73-13 / ※穴子ロータリー101
【TEL・FAX】055-973-8765

長い歴史に培われた確かな目
人生の節目に、信頼の置ける
時計・宝飾・メガネ
小坂
時計の修理、電池交換はもちろん
お手持ちの宝石のリフォームなど
ぜひお気軽に相談して下さい
三島市本町8-1
055-975-1345

カサ・テ・アミーゴス
CASA DE AMIGOS
～ 友達の家 ～
(在住外国人支援団体)
労働相談 生活相談
食糧支援 学習支援
代表 高原静子
090-4083-3281
camigos2012@gmail.com

トータルビューティ
TAYA
代表 美の匠 田屋有季子
花嫁着付・一般着付
カット&パーマ
フェイスリンパマッサージ
〒411-0801
三島市谷田243-2
TEL&FAX 055-981-8019
携帯 090-8154-4324